

令和4年度学校自己評価システムシート(県立越谷北高等学校)

目指す学校像 高い理想と豊かな人間性を兼ね備えたグローバルリーダーを育成する。

重点目標

- 1 すべての教育活動における「主体的・対話的で深い学び」によって、一人一人の生徒の主体性を伸長する。
- 2 理数教育やSSHの取組の充実と「リベラルアーツ」教育の実現によって、グローバル人材としての資質を高める。
- 3 地域と連携し、高い進路目標を掲げ、自己実現を目指す学校の情報を発信し、学校の評価を高める。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

年度		学校自己評価		年度評価(月 日 現在)													
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況												
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「主体的・対話的な学び」の実現に向けた授業改善は進んできている。 ○ICTを活用した授業を実施する教員は増加している。 ○卒業までに身に付けさせたい資質として「主体性」を共有している。 ○組織的な生徒指導体制は整っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①BYODを活用した授業の実践 ②「深い学び」に向けた指導の工夫・改善が必要 ③受験知識偏重から視野の拡大や教員の指導意識を変化させた授業改善 ④部活動の勉強との両立に向けた計画、指導の工夫、及び保護者との共通理解 ⑤生徒の「主体性」を伸ばす指導の全般的な取組 ⑥生徒の個別な状況に応じた対応の工夫 	<p>①ICTの効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> a ICTの効果的な活用とデータの共有化の推進 b ハイブリッド型の実践 c BYAD導入に向けた研究 <p>②「深い学び」の検証と研究</p> <ul style="list-style-type: none"> a 「リベラルアーツ」教育を意識した授業の実践 b 主体的に学ぶ意識の啓発 c 深い学びへ導く指導の工夫・改善 <p>③部活動や学校行事の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> a 部活動における顧問と生徒との目標等の共有化 b 部活動と学習活動の両立 c 学校行事等の生徒主体による実施 <p>④「主体性」を伸ばす取組と個別の状況に応じた対応</p> <ul style="list-style-type: none"> a 生徒の「主体性」を高めるための意識啓発及び取組の工夫・改善 b スクールポリシーの共有 c 生徒の個別の状況に応じた面談や教育相談の充実 	<p>A ICTを活用する授業、教材等のデータの共有は増加したか。</p> <p>B BYODを活用した授業が実践されたか。</p> <p>C BYAD導入に向けた研究を進め、導入した際の活用方法を共有できたか。</p> <p>D 生徒の授業への期待が、受験知識偏重から視野の拡大や教員の指導へ変化したか。</p> <p>E 主体的に深く掘り下げて学んだ経験をした生徒は増加したか。</p> <p>F 生徒の「主体的に学び続ける力」を高めるための意識啓発に取り組む教員は増加したか。</p> <p>G 深い学びを意識した指導は実践されたか。</p> <p>H 顧問と生徒、保護者で部活動の目標や計画について共通理解し、信頼関係はできているか。</p> <p>I 部活動と学習活動を両立できていると感じている生徒・保護者の割合は8割を超えたか。</p> <p>J 生徒アンケートで学校行事に関する評価(肯定的評価 3.0以上)は向上したか。</p> <p>K 生徒主体に実施された学校行事等は増加したか。</p> <p>L 生徒指導等において生徒の「主体性」を伸ばすための工夫・改善は行われたか。</p> <p>M 交通マナーやSNS等に関する自律的な姿勢を育成する指導を適切に実施したか。</p> <p>N ティプロマポリシーからスクールポリシーへと共有を進めることができたか。</p> <p>O 生徒個別の状況に応じた適切な対応、スクールカウンセラーによる教育相談を適時・適切に実施できたか。</p>	<p>達成度</p> <p>次年度への課題と改善策</p>													
						2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SSH事業は5年目を迎え、学校全体の取組として浸透しつつある。 ○海外研修はコロナ禍による制限はあるがオンラインを併用するなど工夫により取り組んでいる。 ○「総合的な探究の時間」と「理数探究基礎」の融合した展開がスタートする。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①SSH事業の全校体制での取組強化と総まとめ、及び次期申請に向けた準備 ②オンラインも含めたグローバル人材としての資質を高める取組の継続と拡充 ③指導計画を構築した「理数探究基礎」と「総合的な探究の時間」の計画的な実施と発表の充実 ④観点別評価等学習評価方法の点検及び改善 	<p>a SSH事業の全校体制での取組の構築及び拡充</p> <p>b SSH事業の次期申請に向けた準備</p> <p>c クロスカリキュラムの全校体制での取組の拡充</p> <p>d オンラインも含めたSSH海外研修、カナダ派遣等の海外研修の実施</p> <p>e グローバル人材としての資質を育成する取組への参加意欲の啓発</p> <p>f 探究活動とのコラボによるプレゼンテーション能力の育成</p> <p>g 「観点別評価方法の点検・改善」</p> <p>h 探究学習の評価方法の工夫・改善</p>	<p>A 生徒・保護者アンケートにおける評価(肯定的評価 3.0以上)は向上したか。</p> <p>B 全校体制で取り組むSSH行事は適切に実施できたか。</p> <p>C 次期申請に向けた計画を立案し申請できたか。</p> <p>D クロスカリキュラムのシラバスと指導案の作成、授業実践は増加したか。</p> <p>E クロスカリキュラムを全校で取り組むために組織を再編できたか。</p> <p>F 全校生徒がクロスカリキュラムがSSHの研究開発であることを意識して取り組んだか。</p> <p>G オンラインを含めた海外研修等は適切に実施されたか。</p> <p>H カナダ派遣への参加希望生徒、メンバースタッフプログラム等の他のプログラムへの参加生徒は増加したか。</p> <p>I プレゼンテーションや効果的なスライド作成などプレゼンテーション力は向上したか。</p> <p>J 「理数探究基礎」と「総合的な探究の時間」は計画に従って組織的に実施・指導できたか。</p> <p>K 課題発見力・課題解決力は向上したか。</p> <p>L 理数課題研究の内容は充実したか。</p> <p>M 1年生より年次進修で導入の観点別評価は適切に実施できたか。点検・改善に取り組めたか。</p> <p>N 「理数探究基礎」等探究活動を適切に評価できたか。</p>	<p>達成度</p> <p>次年度への課題と改善策</p>							
												3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアを志向した高い進路希望を実現させる取組が広がっている。 ○ICT等を活用した通時・適切な情報発信 ○働き方改革をふまえ、重点化した小中学校や地域との交流の実施 	<p>a キャリア(進路目的)を考えさせる指導の充実</p> <p>b 高い進路希望を持ち続けさせる取組とその実現に向けた指導の充実</p> <p>c ICTを活用した情報発信の充実</p> <p>d 生徒募集対策の実施内容・方法の工夫・改善</p> <p>e 交流イベントへの参加や実施</p> <p>f 小中学校との交流事業の実施(オンライン実施も含む)</p>	<p>A 受験対策だけでなく進路指導(キャリア教育)はできたか。</p> <p>B 高い進路希望を持たせる指導の工夫改善はできたか。</p> <p>C 受験対策指導、生徒個別指導や保護者面談は適時・適切に実施できたか。</p> <p>D 大学入学共通テストに対応した指導の工夫改善はできたか。</p> <p>E 大学入学共通テスト5教科受験者の割合は増加したか。</p> <p>F 本校の魅力や生徒の活動をICTを活用して適切に情報発信できたか。</p> <p>G 生徒の情報発信に関する肯定的評価は増加したか。</p> <p>H HP閲覧数は増加したか。</p> <p>I 中学生の本校に対する評価は高まり、本校志望者数は増加したか。</p> <p>J 部活動や生徒会による地域や中学校、特別支援学校との交流は適切に実施できたか。ICTを有効活用できたか。</p> <p>K 部活動等での小中学校との交流を実施できたか。それによって生徒は成長したか。</p>	<p>達成度</p> <p>次年度への課題と改善策</p>	

学校関係者評価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等